

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	杜のつぐみ療育園 荒井園		
○保護者評価実施期間	2025年 2月 3日		2025年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	17	(回答者数) 16
○従業者評価実施期間	2025年 2月 3日		2025年 2月 14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 7日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	特性把握をした関わりを行うことで、利用児童を理解した対応を行うことができている	課題の提示の難易度やタイミングなどを利用児童の様子や状況に応じて臨機応変に変更し、効果的な療育を行うようにしている	ケース会議などで各児童の見立てや状況などの情報をより綿密に共有することで、状況に合わせた対応や支援が行えるようにしていく
2	言語聴覚士が言語に特化した専門的なプログラムを組み支援を行うことができる	検査バッテリーを使い言語的などのレベルかを客観的に判断し、支援を行っている	プログラムの実施方法や評価方法などを職員に申し送ることで職員全員で専門的なアプローチがおこえるようにしていく
3	職員同士の関係性や環境が良好なため、情報共有などしっかりと行えており、常に状況を把握した支援が行えている	コミュニケーションを取る際も、当日および前日の児童の様子など情報を共有し、日々変化する状況や環境などを把握するようにしている	様子などの情報共有のほかに対応や解決策などを職員全員で検討・共有し、よりより支援に繋げていく

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員の入れ替わりなどが多く、職員が技能習得前に退職してしまうことがある	職場環境は良好であり、技能取得に向けたプログラムも設定されているが、入職時点の状況や環境により、指導手順が順不同になってしまうことが要因であると考え	入職時点での状況や環境を加味し、職員の得意・不得意なども踏まえた指導要綱や指導手順を作成し、新入職員にあった手順で指導することで技能習得を目指し、職場環境により順応できるようにしていく
2	紙ベースのやり取りになっているため、提出期限などが遅れたり連絡などがスムーズに取れないことがある	アプリの導入などデジタル化が進んでいないことが要因と考える	連絡帳ツールの導入などを検討し、連絡手段の確保のみならず写真を媒体とした活動の様子の伝達などをデジタルツールを利用して提供できるシステムの導入を検討していく
3			